

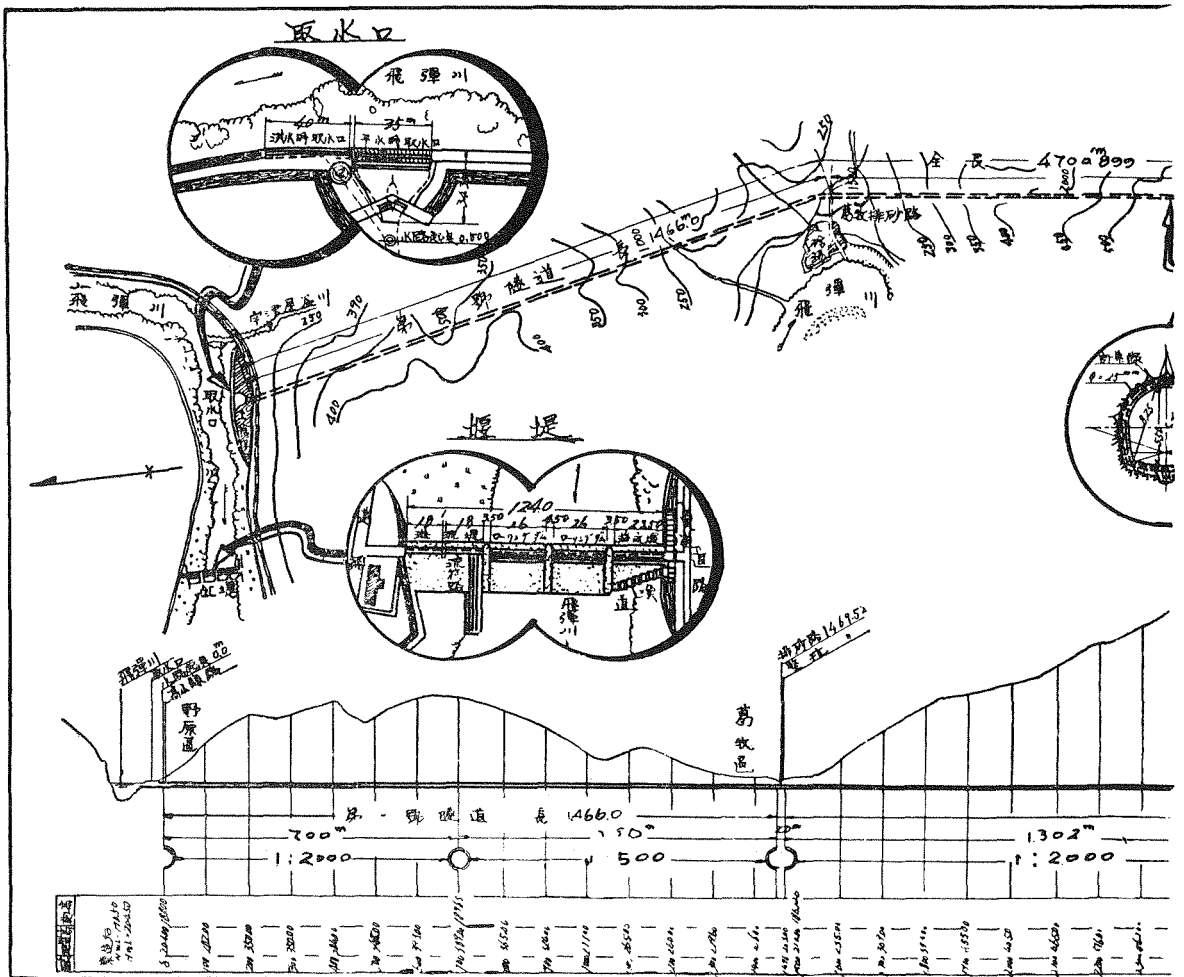
東邦電力 名倉發電工事

大石 勇

場所 岐阜縣加茂郡西白川村地内
 (高山線・下油井・白川口驛の間)
 河川名 木曾川水系・飛彈川

計畫概要
 使用水量 每秒時 67立方米
 有効落差 36米07

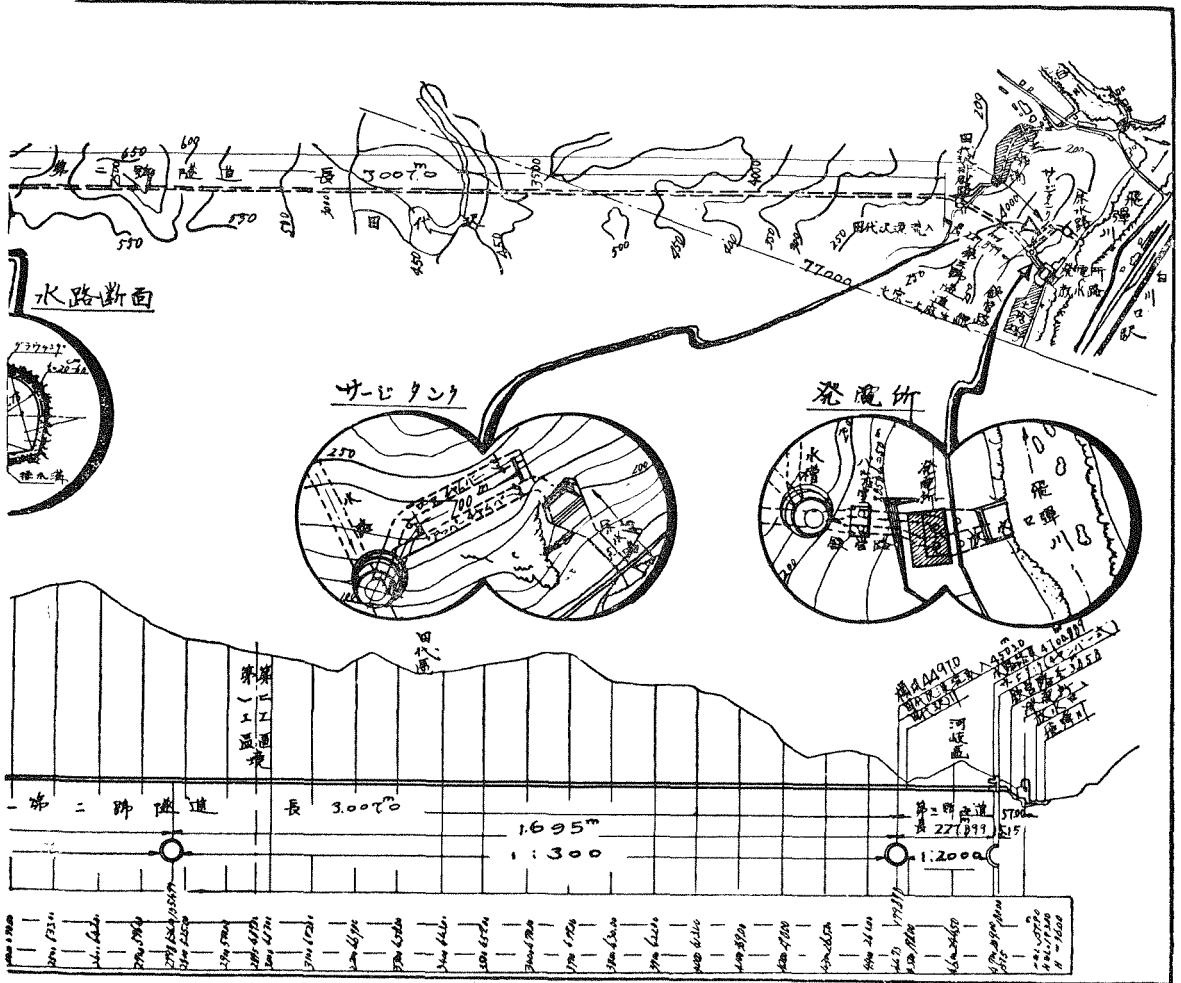
(1) 名倉發電所

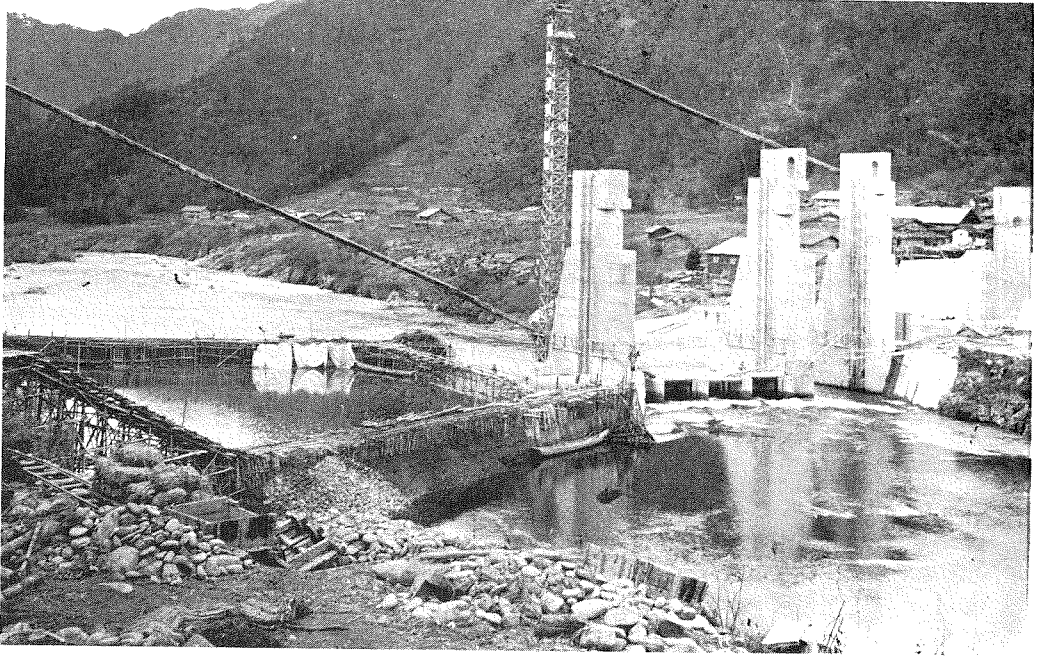


發電力最大 19700キロワット
 流域面積 1682平方糎
 型式 取水堰堤に依る湛水を調整池とする水路式發電所。
 堰堤 コンクリート造。溢流堰堤高平水面上2米80
 可動堤 徑間 18米00 高5米00
 ローラーゲート 3門
 徑間9米00 高8米00
 ローラーゲート 1門
 魚道及流木路を附層す。

取水口 堰堤より上流約 400米左岸に設く漏斗狀の平水時取水口と、窓狀の洪水時豫備取水口よりなる。
 水路 全部耐壓隧道延長4,700米0
 標準断面は、高巾共に5米50、馬蹄形とす。
 施工は之を三本に分け、第一號隧道1,466米00、第二號3,008米00、第三號226米6とす。
 サーヂタンク ゼフアレンシヤルサーヂタンク、但し全部地中に埋設せらる

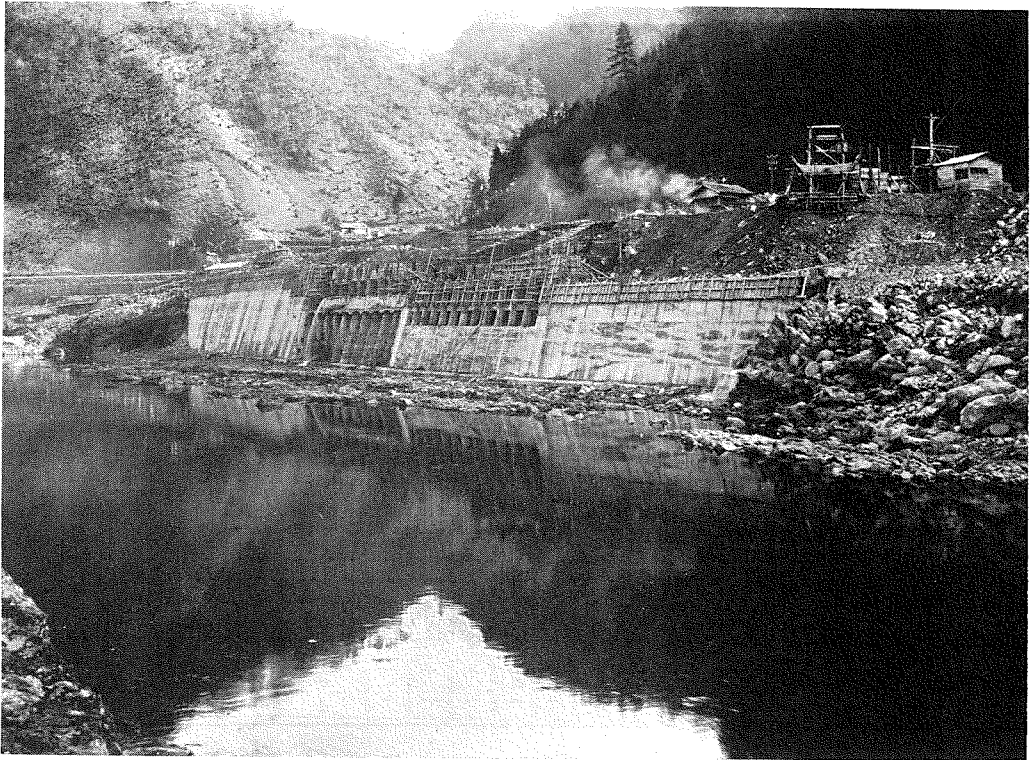
建設工事一覽圖。





(2) 堰 堤・上 流 側 よ り 見 る。

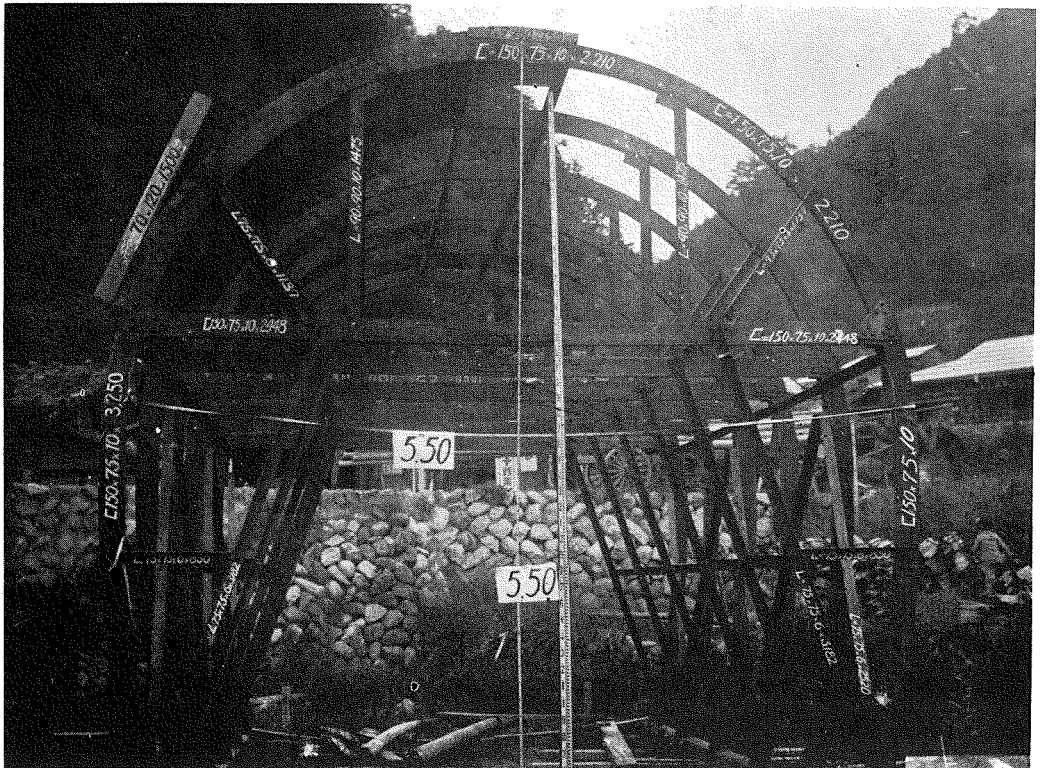
(3) 取入口・敷の低きは本取入口、敷の高きは洪水時豫備取入口。



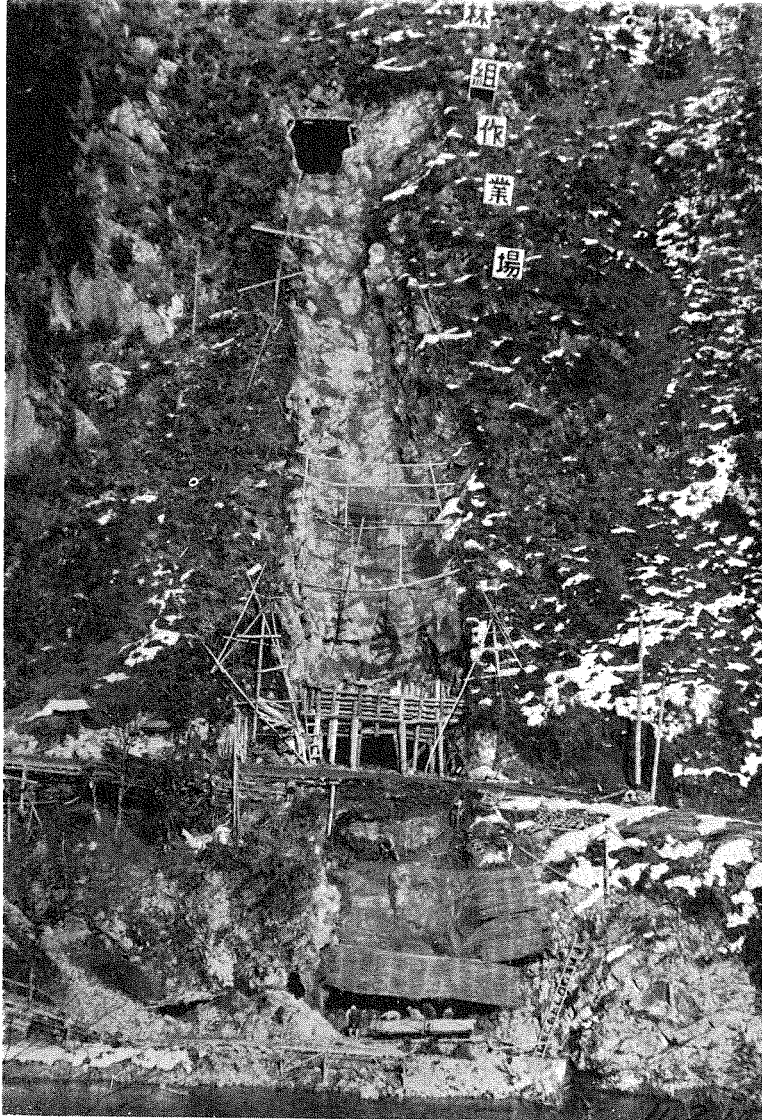
(4) 水路隧道掘削状況。



(5) 水路コンクリート用鐵製セメント。



餘水路



(6) 餘水路工事

オーバーフローのチャンバーは隧道型となり内径6米50の圓形のもの二本・長115米00及94米とす。

鐵管 熔接鋼管延長約55米00途中にて二本に分岐し水車に連絡する鐵管据付後コンクリートにて被ひ地下に埋む。

放水口 延長27米00開渠。

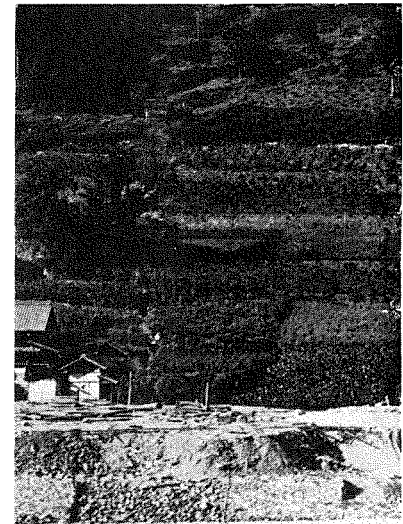
水車 定格10,500キロワットr.p.m. 180二臺。

發電機 12500K.V.A. r.p.m.180二臺。堅軸とす。

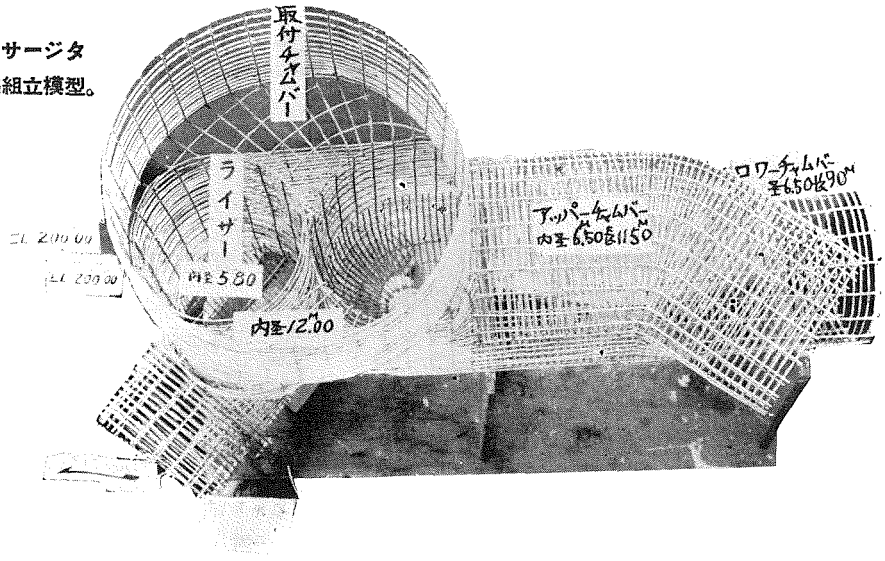
變壓器 8,300K.V.A.四臺 11K.V.—77K.V.

發電所内は半自動化し、ワンマンコントロールとす。

竣功豫定 昭和11年10月。



(7) サージタンク
鉄筋組立模型。



(8) 発電所・上部の半圓形の石積はサージタンク頂部の法面。中段の孔は水路、下段は放水口である。

